

就任の「あいらび」

5月23日付けで石橋輝一神崎町長が就任されました。



神崎町長

石橋 輝一

このたびの神崎町長選挙において、町民の皆さま方の無投票による信任をいただきました。2期目の町政運営の重責に、身の引き締まる思いであります。

先の1期4年間では、「最小の経費で最大の効果」「職員の意識改革」をモットーに掲げ、人件費の大幅な削減や各種委託料、団体への助成金など平均2割以上カットし、町の財政建て直しに着手して一定の成果を挙げることができました。

また、子育て支援と高齢者対策の推進、循環バスの運行、毎週火曜日に町民課窓口業務の時間外延長サービス、水道配水管の布設や道路網の整備を実施し、新たな観光拠点づくりとして、「花の咲くなんじゃもんじゃの木」(ヒトツバタゴ)の植栽普及

を推進。さらに、将来、活性化の拠点として神崎町の発展が期待される圏央道神崎IC(インターチェンジ)周辺整備についても事業化に向けて、積極的に取り組んでまいりました。

今後、市町村合併の進展や更なる少子高齢化の到来などさまざまな問題がありますが、効率的な行政運営と行政サービスの向上を目指すとともに、「住みやすい、住んでよかったまちづくり」を推進するため、次に掲げる重点事業の実現に向けて全力で取り組む決意であります。改めて、その一部を申し上げます。

① 行財政改革の推進

1期目で進めてきた行財政改革はまだ中間程度で、町の財政状況は、依

然として厳しい状況が続いています。これからも行政の果たすべき役割を常に考え、緊急性・重要性・効率性を検討し、絶えず見直しを行い、無駄を省き、経費の節減に努めて、引き続き財政の健全化に取り組んでいきます。

② 成田空港圏との

市町村合併推進

市町村合併については、神崎町の将来を左右する重要課題です。千葉県市町村合併推進構想では、成田市を含む2市4町の合併の組合せが提示されております。

合併に向けて難しいハードルがありますが、平成18年度に加入しました成田空港周辺の自治体で構成する「成田空港圏自治体連絡協議会」や今年の1月に発足した「成田国際空港都市づくり推進会議」での意見交換や活動を中心に、空港を核とした地域振興を図りながら、富里市・芝山町・多古町・栄町と協力し、合併を検討し、訴えていきます。

③ 神崎IC周辺地域の開発

平成24年度開通予定の首都圏中央自動車連絡道。松崎地先にインターチェンジが設置されることに伴い、

地域周辺の開発を進め、地元産業振興や雇用促進、そして古来から伝わる発酵の技術の活用で地域活性化を促進する大きなチャンスと捉えております。

具体的な拠点創りを形成するため、平成18・19年度の2力年で基本構想と基本計画を策定しました。この計画を成功させるためには、たくさん課題がありますが、国・県の関係機関等と協力して、IC周辺地域の整備を目指していきます。

以上、ここに私の所信の一端を述べましたが、町民の皆さま方のご理解を得ながら、安心して暮らせるまちづくりを目指して努力していく所存でございます。今後とも、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のこあいさつとさせていただきます。



職員へ訓示を述べる石橋町長